

1月の24～26日は、10年に一度といわれるほどの寒波が日本列島を覆い、あちこちで積雪や道路の凍結による立ち往生、そして水道管の破裂が起きました。24日は、急遽5校時で授業を切り上げて一斉下校し、翌25日は授業開始を2時間遅らせる措置をとりました。ご家庭の皆様には、急な連絡にもかかわらず、すぐにご対応いただき、大きな混乱なく過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。



さて、**2月3日は節分、4日は立春です。**節分は、彼岸や土用と同じように、季節の移り変わりをよりわかりやすくするために設けられた日で、江戸時代以降は、立春の前日を節分としています。この日は、大寒の最後の日であるため、文字通り季節を分ける日という意味になります。

節分には、「鬼は外、福は内」と声を出しながら福豆をまき、年齢の数だけ豆を食べて厄除けを行うという風習がありますが、とりわけ子どもたちには、邪気が払われ、幸せが訪れるよう願っています。

2月は逃げ月と言われるので、漫然と過ぎてしまわないよう、毎日の学習を大切にしていきたいと思えます。

食に対する理解と感謝の心を深める 給食週間

「今日の給食、おいしかったよ・・・」子どもたちから、そんな言葉がお家の中でも聞かれるでしょうか？

1月24日～30日は「全国学校給食週間」でした。本校では、それより前に、各学級で給食や食に関する授業を行ったり、給食に関わる配膳員さんや調理員さんへの感謝の手紙を書いたりしました。そして、20日には給食委員会が主になって給食集会を計画し、体育館で給食に関するクイズや食事のマナーの話、配膳員さんや感謝の手紙の贈呈、栄養教諭の古賀先生による話などを行う予定でしたが、あいにくインフルエンザ罹患者が出始め、各教室でのオンラインによる集会となりました。

一堂に会することはできませんでしたが、食の大切さとその生産に関わる人々への感謝の心を持ち、たくましい子につなげることはできたと思えます。ご家庭でも、地元の産物や食文化にまつわる話で、食に対する関心を高めていただければと思います。



長縄集会

1月31日、温かい日射しに恵まれ、長縄集会を行いました。今年は全学級が運動場に集合し、3分間の8の字跳びを2回ずつ行いました。

その中でどれだけの回数を跳べたかを競い合い、予め各学級で設定した目標回数にどれだけ近づけたか、あるいはどれだけ上回れたかも調べました。最高回数は、なんと2年1組の308回でした。



次いで6年2組の285回、6年3組の280回でした。また、目標回数を超えたのは、2年1組、3年1組、6年1組、6年2組でした。今まで練習してきた回数を超えた学級は、歓喜の雄叫びを上げていました。

「学級のみんなが心を一つにしてチャレンジする」姿がとても印象的でした。この取組を通して、学級の絆も深まっただろうと思います。



学校評価アンケート ご協力ありがとうございました

先日、ご協力いただいた学校評価アンケートについて、保護者・児童・教職員評価の結果をお知らせします。前年度と比較して「とてもそう思う」や「だいたいそう思う」の割合が上がったものもあれば、下がったものもありました。

上がったものとしては、「思いやりを育てる指導」や「丁寧な言葉づかいの指導」、「いじめの早期発見・解決」、「児童・保護者への相談対応」や「体調不良やケガへの対応」があります。反面、「進んで宿題や家庭学習」や「気持ちの良いあいさつ」が下がっています。項目別に見てみると、学校にも家庭にもまだ改善・努力の余地はあります。詳しくは【主な項目の考察】をご覧ください。

最終報告は、学校支援会議（学校評価委員会）での話し合いを受けてからになりますので、3月の頭になるかと思えます。その際は、本校ホームページにも掲載します。

| 質問項目 | 保護者 | 児童 | 教職員 |
|----------------|------|------|-------|
| ①学校が楽しい | 95.0 | 95.0 | 95.0 |
| ②わかりやすい授業 | 83.8 | 98.7 | 100.0 |
| ③家庭学習 | 71.3 | 78.5 | 90.0 |
| ④忘れ物 | 81.3 | 78.6 | 86.3 |
| ⑤思いやりを育てる指導 | 93.4 | 94.4 | 95.5 |
| ⑥思いやりのある子ども | 95.3 | 86.7 | 100.0 |
| ⑦気持ちの良いあいさつ | 75.4 | 86.1 | 77.3 |
| ⑧規則正しい生活 | 66.3 | 78.0 | 95.5 |
| ⑨私物・公共物を大切に | 75.9 | 95.0 | 77.2 |
| ⑩体力・運動能力の指導 | 90.7 | 72.8 | 100.0 |
| ⑪食事作法・習慣の指導 | 88.4 | 89.8 | 95.4 |
| ⑫丁寧な言葉遣いの指導 | 90.3 | 96.3 | 90.9 |
| ⑬いじめの早期発見・解決 | 82.5 | 93.9 | 100.0 |
| ⑭児童・保護者への相談対応 | 90.5 | 96.9 | 100.0 |
| ⑮体調不良やケガへの対応 | 94.7 | 96.9 | 100.0 |
| ⑯学校や児童の様子の情報発信 | 90.8 | 86.0 | 95.0 |
| ⑰地域・保護者・学校連携 | 81.0 | | 86.0 |

【主な項目の考察】

- ②児童と教職員の評価は高い。全国学力調査や県学力調査でも本校は県及び全国平均を上回ったことから「わかる授業」に向けた取組は成果が表れているようだ。ただ、児童の学力には個人差があるので、一人一人に応じた指導を今後も全校挙げて工夫していく。
- ③家庭学習の習慣化に向けては、校内研修でも取り組んでおり、教職員は手ごたえを感じているが、保護者や児童の評価が低い。今後も、保護者の協力を得ながら、児童の意欲を高める声かけや宿題の出し方の工夫を行っていく。
- ④忘れ物については児童の評価が低い。連絡帳の書かせ方や翌日の準備の仕方については各学級で指導を続け、低学年を中心に保護者にも大きな支援をいただいていると思うが、学習準備の習慣化についても保護者

の支援を呼びかける等、全学年で意識を高めていく。

⑦気持ちの良いあいさつについては、校長が「諫早一」のあいさつを目指し、重点事項として取り組んでいるところであるが、保護者や教職員の評価が低い。あいさつの意識や捉え方は個人差があるが、まずは大人が手本を示しながら、あきらめることなく指導を続けていく。

⑧家庭での規則正しい生活については、日々の学校での指導はもちろん、「メディアコントロールチャレンジ」等でも取り組んでいるが、朝から眠たそうに登校してくる児童もいる。話を聞くと、夜遅くまでゲームなどメディアを扱っていたという児童が多い。コロナ禍でメディア依存症等が社会的な問題になっているので、メディア使用のルールを学校や家庭でもう一度見直し、児童の生活をより良いものに導いていく。

⑬いじめの未然防止・早期発見・早期解消は、今後も児童理解に基づいた学級経営を進め、児童一人一人との信頼関係を築くとともに、児童の異変に気付くことができるよう観察を続けていく。

⑰コロナ禍で、PTA活動や地域との連携もなかなか思うようにはできず、保護者と教職員の評価が90%に満たないのは仕方のない状況であると考えている。ただ、今年度は、規模を縮小したものの「楽校へ行こう」が実施でき、学校支援会議も増員することができた。また、早朝から地域の方が運動場の草取りをしてくださったり、学校周辺の落ち葉を掃いてくださったりと本当に支えられていることを実感している。新型コロナウイルス感染防止の状況下でもできる連携を模索し、協働を呼びかけていく。